

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.9.28

第 1117 回放送分『命を守るゲートキーパー』4 回目

ゲスト：春日井基文ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「命を守るゲートキーパー」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 春日井基文（かすがい もとふみ）ドクターです。
春日井さん、最終週もよろしくお願いいたします。

春日井基文Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

先週は、ゲートキーパーとして「悩んでいる人の話を聴く」ことの大切さについてお話しいただきました。
相手の気持ちに寄り添い、「死にたいと思うくらい、つらい状況にある」ということを理解することが大切ということでした。
今週は何についてお話しいただけますか。

春日井基文Dr.

今週は、ゲートキーパーとして「必要な支援につなぐ」ポイントについてお伝えいたします。
先週お伝えしたように、相手の話をしっかりと聴いた上で、「今のつらい状況は、あなたの性格や弱さではない」こと。
そして、「医療や生活の支援が必要な状態で、支援を受けることで和らぐ可能性がある」ということを伝えましょう。

二見いすず

「相手の性格や弱さが原因ではない」これを伝えるのは、とても大切ですね。

春日井基文Dr.

そうですね。

二見いすず

相談先への連絡は、どのようにすればいいのでしょうか？

春日井基文Dr.

本人の了承を得てから連絡しましょう。

相談先は、私が在籍している鹿児島県精神保健福祉センター、自殺予防情報センター、最寄りの保健所、近くの心療内科などがいいでしょう。

二見いすず

ちなみに春日井さんのいらっしゃる鹿児島県精神保健福祉センターに電話をすると、どのようなご対応をいただけるのでしょうか。

春日井基文Dr.

新規の方だと 30 分ほどお話しします。本人ではなく、ゲートキーパーの方が電話をかけてくることも多いです。

二見いすず

電話番号も教えていただけますか。必要な方はメモをご用意ください。

春日井基文Dr.

電話番号は、099-218-4755 になります。

二見いすず

鹿児島県精神保健福祉センター、099-218-4755 ですね。

こちらはお電話のあと、実際に会って面談をするということもあるのでしょうか。

春日井基文Dr.

はい。可能であれば本人とゲートキーパーの方と一緒に。

本人が躊躇するようであれば、本人の了承を得た上で、ゲートキーパーだけで相談に行くことも可能です。

二見いすず

分かりました。最近増えている相談というのはありますか？

春日井基文Dr.

職場の若い方で、うまく適応できずにメンタルヘルス不調になる方が多いようです。

またハラスメントの問題で、上司は良かれと思って発言したものの、それが若い人の悩みになってしまうというケースもあります。

いま、職場の 50 人に 1 人は長期療養、休職すると言われています。

ゲートキーパーとして必要な支援につなげた後も、いつでも相談にのることを伝え、相手の孤独感や孤立感を和らげることが大切です。

二見いすず

よく分かりました。

今月は、「命を守るゲートキーパー」をテーマに鹿児島県医師会 春日井基文ドクターに貴重なお話をさせていただきました。

春日井さん、ありがとうございました。

春日井基文Dr.

ありがとうございました。